

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 木通 昌生 (TEL) 099-273-3859
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,857	△18.3	121	2.2	134	101.7	124	—
24年3月期第2四半期	4,723	2.7	118	△34.8	66	△61.9	△18	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 111百万円(—%) 24年3月期第2四半期 4百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	26.51	—
24年3月期第2四半期	△3.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,344	4,548	40.1
24年3月期	8,422	4,473	53.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 4,548百万円 24年3月期 4,473百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,541	△1.7	262	333.1	268	—	249	68.0	52.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) コスモ食品株式会社、除外 1社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	4,746,000株	24年3月期	4,746,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	40,842株	24年3月期	40,842株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	4,705,158株	24年3月期2Q	4,705,158株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果を支えとして、国内需要を中心に緩やかな景気回復の動きが見られたものの、欧州債務問題や中国をはじめとする新興国の減速、長期化する円高の影響などから、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは市場動向を見極めながら、顧客のニーズ対応や提案など販売力の強化に努めるとともに、全社的な経費削減の取り組み、生産効率及び品質向上に努力してまいりました。一方、不採算続きであった海外子会社HIGASHIMARU VIETNAM CO., LTDの清算を進め、また、本年7月31日にコスモ食品株式会社の子会社化(株式取得)により、事業領域拡充や新商品開発などグループ経営の効率化及びシナジー創出を図り、将来の更なる成長と企業価値向上を目指すなど積極的に取り組んでまいりました。

なお、コスモ食品株式会社及びその子会社につきましては、当第2四半期連結会計期間末(平成24年9月30日)を支配獲得日とみなして処理しているため、同社の業績は当第2四半期連結累計期間に含まれておりません。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は38億57百万円と前年同四半期と比べ8億65百万円(18.3%)の減収、営業利益は1億21百万円と前年同四半期と比べ2百万円(2.2%)の増益、経常利益は1億34百万円と前年同四半期と比べ68百万円(101.7%)の増益、四半期純利益は1億24百万円(前年同四半期は18百万円の損失)となりました。

なお、養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、摂餌が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節的変動があります。したがって、当第2四半期連結会計期間の売上高は、第1四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間と比べ高くなる傾向にあります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①水産事業

水産事業におきましては、当社が主原料とする輸入魚粉価格のマーケットは高止まりで推移しており、また、国内の魚価低迷が続く養殖経営を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いております。

このような環境の下、安定した養殖環境にあったエビ飼料類及び養殖稚魚等の販売は伸びましたが、ハマチ飼料類は大口取引先及び受託生産の取引が販売価格競争により大幅ダウンとなるなど、魚類関連飼料の販売が減少しました。

その結果、売上高は30億71百万円と前年同四半期と比べ7億48百万円(19.6%)の減収となりましたが、セグメント利益は2億44百万円と前年同四半期と比べ1億53百万円(168.0%)の増益となりました。

②食品事業

食品事業におきましては、競合他社の生産能力が過剰な状況にあることから価格競争が一段と増してきており、今後も厳しい事業環境が続くものと思われまます。

このような環境の下、差別化商品の開発に力を入れ、今年4月に「海鮮皿うどん」、「ラー麺サラダ」、「つけ麺魚介豚骨」を発売したのに続き、7月に「白ちゃんぽん白味噌風味」、「もやしと豚肉あんかけ揚げめん」、「かに玉風あんかけ揚げめん」を発売いたしました。昨年の震災後の特殊需要がなくなった関係から即席めん類が減少したほか、プライベートブランド商品の皿うどん類などが減少しました。

その結果、売上高は7億85百万円と前年同四半期と比べ1億17百万円(13.0%)の減収となり、セグメント利益は156千円と前年同四半期と比べ87百万円(99.8%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ29億22百万円増加し、113億44百万円となりました。これは、主として現金及び預金が7億9百万円、受取手形及び売掛金が10億17百万円、有形固定資産が4億32百万円増加したことに加え、コスモ食品株式会社を子会社化（株式取得）したことにより、のれんが4億81百万円発生したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ28億47百万円増加し、67億96百万円となりました。これは、主として買掛金が4億32百万円増加したほか、コスモ食品株式会社の子会社化（株式取得）に要した資金調達の関係から、短期借入金が14億72百万円、長期借入金が11億98百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ74百万円増加し、45億48百万円となりました。これは、主として利益剰余金が87百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社グループの事業に係るリスクの発生、運営上の重要な契約等の締結、その他当社グループの将来の業績に影響を与える可能性のある事象が発生した場合は、業績予想を見直す可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、コスモ食品株式会社の発行済株式の全てを取得したことに伴い子会社となったため、連結の範囲に含めております。

なお、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としているため、当第2四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,240,330	1,949,978
受取手形及び売掛金	1,301,720	2,318,721
商品及び製品	354,830	429,275
仕掛品	69,089	75,740
原材料及び貯蔵品	744,884	703,213
その他	325,299	447,516
貸倒引当金	△16,137	△15,814
流動資産合計	4,020,018	5,908,630
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,127,582	1,262,933
機械装置及び運搬具（純額）	629,930	717,244
土地	1,763,746	1,969,084
その他（純額）	57,924	62,457
有形固定資産合計	3,579,184	4,011,721
無形固定資産		
のれん	—	481,545
その他	39,208	38,395
無形固定資産合計	39,208	519,940
投資その他の資産		
投資その他の資産	827,571	947,743
貸倒引当金	△43,813	△43,813
投資その他の資産合計	783,757	903,929
固定資産合計	4,402,149	5,435,591
資産合計	8,422,167	11,344,221

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	344,810	777,597
短期借入金	1,304,000	2,776,040
未払法人税等	40,176	15,130
賞与引当金	71,518	111,258
事業整理損失引当金	142,934	—
その他	522,082	461,843
流動負債合計	2,425,522	4,141,870
固定負債		
長期借入金	782,000	1,980,530
退職給付引当金	39,920	41,558
役員退職慰労引当金	446,416	378,184
その他	254,491	253,937
固定負債合計	1,522,827	2,654,209
負債合計	3,948,349	6,796,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,579,656	3,666,732
自己株式	△28,938	△28,938
株主資本合計	4,613,017	4,700,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,654	11,699
繰延ヘッジ損益	△175,212	△174,451
為替換算調整勘定	18,358	10,799
その他の包括利益累計額合計	△139,199	△151,952
純資産合計	4,473,817	4,548,141
負債純資産合計	8,422,167	11,344,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	4,723,153	3,857,228
売上原価	4,015,785	3,159,390
売上総利益	707,368	697,837
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	197,915	176,157
給料及び賞与	122,893	119,613
賞与引当金繰入額	1,809	33,245
役員退職慰労引当金繰入額	5,478	4,518
その他	260,272	242,706
販売費及び一般管理費合計	588,369	576,239
営業利益	118,998	121,597
営業外収益		
受取利息	366	164
受取配当金	2,074	1,791
為替差益	—	10,738
受取保険金	1,530	5,007
役員退職慰労引当金戻入額	40,943	—
雑収入	10,282	20,342
営業外収益合計	55,197	38,045
営業外費用		
支払利息	12,446	11,612
為替差損	93,283	—
雑損失	1,578	13,142
営業外費用合計	107,308	24,754
経常利益	66,887	134,889
特別利益		
投資有価証券売却益	851	—
補助金収入	6,285	—
特別利益合計	7,137	—
特別損失		
固定資産除却損	97	—
投資有価証券売却損	8	—
特別損失合計	105	—
税金等調整前四半期純利益	73,919	134,889
法人税、住民税及び事業税	73,263	9,320
法人税等調整額	18,814	850
法人税等合計	92,077	10,171
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△18,158	124,717
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,158	124,717

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△18,158	124,717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,288	△5,955
繰延ヘッジ損益	△29,102	761
為替換算調整勘定	48,029	△7,558
その他の包括利益合計	22,214	△12,752
四半期包括利益	4,055	111,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,055	111,965
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	73,919	134,889
減価償却費	161,847	138,695
補助金収入	△6,285	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△43,791	23,949
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△36,105	△68,232
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,398	1,637
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△142,934
固定資産除売却損益 (△は益)	97	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△843	—
受取利息及び受取配当金	△2,440	△1,956
支払利息	12,446	11,612
為替差損益 (△は益)	47,073	5,519
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,356,574	△777,735
たな卸資産の増減額 (△は増加)	204,260	74,260
仕入債務の増減額 (△は減少)	695,174	320,047
その他	59,781	△131,716
小計	△190,040	△411,964
利息及び配当金の受取額	3,056	2,394
利息の支払額	△13,122	△12,259
法人税等の支払額	△32,314	△39,414
その他の収入	7,531	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	△224,888	△461,242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△309,066	△33,039
定期預金の払戻による収入	712,552	6,001
有形固定資産の取得による支出	△77,688	△141,302
投資有価証券の取得による支出	△16,934	△13,974
投資有価証券の売却による収入	3,113	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,349,917
その他	△9,904	36,771
投資活動によるキャッシュ・フロー	302,070	△1,495,460
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	221,266	2,820,000
長期借入金の返済による支出	△150,100	△142,000
配当金の支払額	△42,346	△37,641
財務活動によるキャッシュ・フロー	28,820	2,640,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49,393	△1,045
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	56,608	682,609
現金及び現金同等物の期首残高	508,201	840,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	564,810	1,523,472

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,819,467	903,686	4,723,153	—	4,723,153
セグメント利益	91,374	87,517	178,892	△112,005	66,887

(注) 1 セグメント利益の調整額△112,005千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費82,201千円、営業外収益32,348千円、営業外費用62,151千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,071,327	785,901	3,857,228	—	3,857,228
セグメント利益	244,902	156	245,059	△110,170	134,889

(注) 1 セグメント利益の調整額△110,170千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費104,160千円、営業外収益10,701千円、営業外費用16,712千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間にコスモ食品株式会社を連結子会社としたことを主因として、前連結会計年度の末日と比べて当第2四半期連結会計期間末の「食品事業」セグメントの資産の金額が2,378,105千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「食品事業」セグメントにおいて、コスモ食品株式会社の全株式を取得したことにより、新たに連結の範囲に含めております。これによりのれんが481,545千円発生しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。